



特別展「キトラ古墳壁画」

の力は必要不可欠で、女性の発想は地域活性化の大きな力になる。女性の発想を掘り起こす取り組みも必要だと思いが。

答 男女共同参画の施策として、自分に合った仕事の見つけ方など、女性が活躍できる第一線を踏み出す内容のセミナーを開催していく。女性の社会進出や参加において、積極的に活動を行うとする団体や個人は、関係部署など多岐にわたっているが、連携を図り女性が活動しやすい環境づくりに努めたい。

一般質問
榎尾 幸雄
(いずれの会派にも所属しない議員)

檀原市の職員

問 本市の臨時職員の時給は780円であり、最近では若人の臨時職員への応募が減ってきて年齢層が高くなってきていると聞いている。その仕事ぶりを見ていると、正規職員より頑張っている方がたくさんおり、この人たちには1日でも長く働いていただきたいが、市の考えは。

答 パートの応募については、厳しい状況であり、若い人が減ってきている。臨時職員は、一律時給780円であり、単価については、毎年予算の段階で議論を重ねているが、奈良県の最低賃金が710円、県内12市の同種の平均賃金は785円である。安倍政権によるアベノミクスが進められる中で、雇用の問題も大きく取り上げられており、非正規・アルバイトについても時給千円を目標にしてはどうかという意見があることも承知して

いる。本市もそのことを踏まえながら、議論を重ねていきたい。

問 時給780円は、安いのか、高いのか。上げることができるのか、できないのか。

答 他市の状況を見ても安いと思う。若干のアップは考えている。

問 職員採用について、1次試験を通ると次に2次試験があるが、その際にどのような面接をしているのか。

答 1次試験はペーパー試験であり、2次試験は集団討論、そしてその後面接を行っている。一昨年、昨年度は、一般事務職の採用試験において、臨床心理士を試験官とし、心のケアができるかどうかという面を見た。面接は、今までの1回から2回に増やし、3次試験まで実施した。

問 最近、若い職員の電話や窓口での対応の悪さが目立つ。高学歴の職員が増えているが、それを鼻にかけて少し思い違いをしているのでは。面接でこれらの特徴を見分けることができているからそういう職員が採用されているのでは。1次試験を通ることは重要であるが、その成績上位者だけ

を採用するのではなく、市民サービスという役所の仕事をやるにふさわしい適性を見分けることが必要ではないか。

答 確かに若い職員の中にはそのような職員がいることは理解しており、人物重視で採用するように方向転換を図っている。民間企業の試験は相当厳しく、エントリーシートから始まって面接も数回あり、市の試験とは比較にならない。ただ、そうして採用される民間でも問題のある職員は多いと聞いている。メンタル面が弱い職員、常識のない、対応できない、本当の市民サービスができない職員がいることも否めない事実である。それらは上司が指導していかなばならないが、まずは試験の段階で判断していく。今年度からは面接回数を増やし、4次試験まで実施することを考えており、面接官も実際に社会に出た場合にどう順応できるのかなどを見分けられるようにならねばならない。短時間の面接で適性を見出すのは難しいが、できる限り人物重視で人を見極める力を持って面接に臨みたい。

世界遺産登録

問 東京で開催されていたキトラ古墳展は大変盛況であった。飛鳥・藤原の世界遺産登録を目指すうえで、古墳群をもっと有効活用できないかと思うが市の考えは。

答 遺跡や古墳等を活用した観光ルートづくりは非常に重要である。それによって本市の集客、また宿泊客の増加も見込めると考えており、積極的に取り組んでいきたい。

問 4月1日に歴史に憩う檀原市博物館がオープンしたが、現在までの入館者数は。

答 4月に923名、5月に825名。4月、5月末までの合計で1,748名に来ていただいた。

問 古墳等の発掘調査について、市民はどこを発掘してどんなものが出てきているのかということとは、ほとんどわかっていない。発掘調査には税金がかかっており、市民に周知しなければならぬと思うが、その点についての考えは。

答 発掘調査の際には、現地説明会を実施している。また、